

〈ラクシアーのお宝〉シリーズ リプレイ 【春のオンセ祭り】特別番外編 「お花見に行こう！」

はい、皆様こんにちは！初めましての方は初めまして〈ラクシアーのお宝〉シリーズGM、ペンタコスでございます。この度は本書をご覧頂き、誠にありがとうございます！

本書は、GMがTRPG ONLINE様での【春のオンセ祭り】に参加させて頂いたもののリプレイになります。キャンペーンとは違ったキャラ達のやりとり…どうなるかワクワクしながら望んだこのセッション。

オンセ祭りのテーマは「春」…どんなセッションにしようかと思ってふと立ち止まる。「…この卓の冒険者の店の名前、何よ？」と(笑)

というわけで、セッション内容はすんなり決まったぞ～！今回も張り切っていってみましょう！

・セッション開始&メンバー顔合わせ！

GM:皆様今回はご参加ありがとうございます～！ご新規様が多いようなので、このシリーズのまとめ WIKI を載せておきます。セッション前に読んで頂いて、何となく雰囲気を感じていただけたらと思います～

<http://w.livedoor.jp/trpgonline/d/%3c%a5%e9%a5%af%a5%b7%a5%a2%b0%ec%a4%ce%a4%aa%ca%f5%3e%a5%b7%a5%ea%a1%bc%a5%ba>

GM:皆今日は参加ありがとうございます！よろしくお祈りしますね～

一同:はい！

GM:ほーい！では開始～

ダメット:(プレイヤー発言) イェ—————ヽ(°Д°)人(°Д°)ノ—————イ!!

GM:さてさて、皆様、改めて本日はご参加ありがとうございます！

リップ:(プレイヤー発言) よろしくお祈りしますー

ノエ:(プレイヤー発言) よろしくおねがいしますー

アレク:よろしくですー！

ダメット:(プレイヤー発言) ((☆´▽)从(▽`★))よろしくお祈りしますー

GM:セッションで分からないことがあったら遠慮無く聞いてくださいね！皆で楽しんで行きましょー！

ところで皆、WIKIの方は見ていただいているかな？

ノエ:一応見ましたー

リップ:(プレイヤー発言) もちろん

アレク:一通り目は通しましたー

ソン:流し読み程度ですが

ダメット:(プレイヤー発言) 今読んでます。((`・ω・´)キリッ

GM:ありがとうございます。んではさわりだけさくっと説明しますね

GM:皆さんがいるのは、橋の国ダーレスブルグ公国。そこにある小さな冒険者の店「桜舞うそよ風亭」で結成されたPTです。



GM:そして、少し前に、こんな男が空飛ぶ船でやってきました

GM:こいつがヴェルダール海賊団の船長、キャプテン・ペンティニア。
皆さんに〈ラクシアールのお宝〉探しを依頼した、謎多き男ですね
そして、今回はその番外編です。

ここで地味にキャプテンのイラストを公開～！リプレイを呼んで頂いた方から
「思ったより若い！」と評判(?)でした。飄々とした感じを出したかったのですが…如何でしょう？

GM:ということでまずは、PCの自己紹介からだ～！

アレク:(プレイヤー発言) いえーい！

リップ:(プレイヤー発言) 1番手いっきまーす

GM:お、どぞどぞ！

ダメット:(プレイヤー発言) オオーw(*°o°*)w

リップ:「よーほーほう！(海賊風)リップ・ムトゥフオよ。シューターやってるわ。

世界中の景色を絵をにするために旅してるの。ここではどんな絵が出来るかしら？

そういうことで、よろしく。」

一同:パチパチパチ～

リップはルンフォのマジシューさん。芸術家という設定がGMとしては意外で良い感じでしたね！セッションではどんな感じのRPになるでしょう？ワクワク

GM:さてさて！お次は誰かな？

アレク:じゃあ、私いきましょうか

GM:おお！どぞどぞ！

アレク:「よろしく、アレクっています。

熱心なキルヒア神官で、小さいころに神様の声を聞いてからずっと神殿で修行していました。

プリースト技能を得てすぐの頃、キルヒア様の教えに従い、冒険に出てもっと世界を知ろうと決意し、家出しましたが失敗。親にこっぴどく怒られたことがあります。

それ以降、親から冒険者と関わることを禁止されており、冒険者に強い憧れを抱いています。

神殿にきた冒険者さんに紹介され、冒険者の店へはお忍びで来てます。というわけで、よろしく。」

一同:パチパチパチ～

お次はキルヒア神官アレク！賢神と謳われるキルヒア神官は頭良さそう…GMはお馬鹿だから神の声も聞けそうにないね(笑)しかし冒険者に憧れるアクティブな面もある。完璧超人ですね！(ピョッ

ソン:(プレイヤー発言) では次やります

GM:皆がノリが良くて嬉しい…; ;いってみよー！

ソン:「俺はソムム・タンジーム。言いくかかったらソンとでも呼んでくれ。」

ソ:「命の恩人の言葉に従ってみたらここにたどり着いた。
というわけで、ここで仕事することになったんで、よろしく。」
一同:パチパチパチ～

ソは人間のフェンサー！そよ風亭を知っている命の恩人…誰でしょう？GM、気になります！（キラ

GM:これは…上から順番いけるかな？ノエどうかな～？

ノエ:はい

ノエ:「ノエと申します。仕えていた家が没落してしまったため冒険者として生計を立てています。
皆さまよろしく願いいたします。」

GM:パチパチパチ～

ノエはファイターとライダー技能を持ったルーンフォーク！…実はこの時、ライダー技能について勉強不足のGM(滝汗)そろそろライダーPC作ってみようかしら…？

GM:では最後！ダメットいってみよ～！

ダメット:「{[-][-]}zzz_-)(- (°Д°)ハッ! 僕はうさ田 ダメ吾郎。みんなから、ダメットてよばれてるよ。
{[-][-]}zzz_-)(- (°Д°)ハッ! コンジャラーだよ。音沙汰のない暗殺者の兄貴の帰る家をつくるため、お金をためたいんだあ。だから、海賊船で看板掃除してるんだあ。
稼ぎが悪いから、冒険者の宿にバイトにきたんだあ。よろしくね～」

一同:パチパチパチ～

アレク:パチパチ～

ソ:ぱちぱち～

ノエ:88888

リップ:(プレイヤー発言) パチパチ～

GM:とりあえず…ペンティアー「悪かったな安時給で」

ダメット:「え?! おやびんいたのか。。。。\(:; ▽°)/ヒヤアセモン☆」

最後はタビットコンジャラーダメ吾郎！…何故だろう？ペンタ GM の卓は必ず一人ウサギがいる気が。
しかし今回のウサギちゃんは…ギャグキャラの予感！

GM:ふむふむ、皆良い感じのキャラですね～！GM 楽しくなってきました！
では、そろそろ本編に参りましょう！

さてさて、こんな面々でお送りする今回の番外編！今回からは実際に使った背景なんかも入れていきましょう！では、はじまりはじまり～！

・始まりは少女の疑問



GM:時刻は朝。皆さんは「桜舞うそよ風亭」で揃って朝食を摂っている・・・という所から開始でいいかな？

ソ:(プレイヤー発言) 了解です

アレク:(プレイヤー発言) はい

ノエ:(プレイヤー発言) はい

リップ:(プレイヤー発言) おっけい

ダメット:(プレイヤー発言) おk

GM:ではでは！張り切っていってみよー！れつつすとー！

ダメット:自前の毛布に包まって寝ている。(ー)° zzz...

リップ:「(寝ぼけ眼を擦りながら)コトリさんフレンチトースト1つ・・・」

ソ:「あ、俺もトーストで・・・ふああ、ねむい」

ノエ:「(馬小屋のほうから来て)私もトーストをお願いします。」

コトリ:「はい！ただいま～」

アレク:「朝ご飯食べたら神殿ですねえ。今日はお仕事無いかな？」

リップ:「神殿よりも画材運ぶの手伝ってよ。今日は海の絵を描きたいの・・・ふああ」

ダメット:「ありがとうなぎムニャムニャ(大声の寝言)」

アレク:>**リップ**「ふむう。私ももう侍祭ですからねえ。あまり空けるわけには」

リップ:「そういうことなら仕方ないわね・・・じゃあ**ノエ**君手伝ってよー。馬あるでしょ、うまー」

アレク:「そうですよ。手伝ってあげてはどうです？」

ノエ:「私の馬は海苦手なんですよー」

アレク:「そうなんですか。**ダメット**さんは寝てますしねえ。」

ソ:「もぐもぐ・・・Zzz」

リップ:(**ダメット**の耳をひつつかんで)「起きてー」

ダメット:「(° 旦 °)ハッ! ギャアアアア—————(|||| 旦 °)—————!!!!!!」(耳元での声に)

アレク:「あ、起きましたね。」

リップ:「きゃっ！そんなに驚かなくても・・・」

ダメット:「筋力12のチカラで耳を引っ張られると痛いのです。(； 旦 `)トホホ・・・」

リップ:「ぜ、全力なんかでやってないわ！朝食奢るから、海まで画材運ぶの手伝ってくれない？」

ダメット:「300G で手をうとうw」(ゲス顔)

リップ:(プレイヤー発言) 命中判定していいかな

GM:おっけい！れつつごー！

リップ:(プレイヤー発言) じゃあ素手でw

リップ:2D6 合計:7 <4,3>

ダメット:2D6 合計:4 <1,3>

ノエ:>**ダメット**(プレイヤー発言) ムチャシヤガッテ・・・

ダメット:(プレイヤー発言) あたっちまった

GM:**ダメット**は**リップ**にゲンコツくらってタンコブだ！

ダメット: (プレイヤー発言) ダメおくれ w

リップ: ROC13 合計:2 <[6_2]> = <2>

GM: 防護点でかっきんかな?

ダメット: (プレイヤー発言) 頭命中ってことで w

リップ: (プレイヤー発言) 割と本気で殴ったなw

GM: まあ、ノーダメでいいですよん ww

ダメット: (プレイヤー発言) 面白いのでこのまま w

GM: 了解 www

ダメット: 「Σ(°Д° υ) イ!!ひい」

ノエ: 「今日はウサギ鍋ですね。(ボソツ)」

ダメット: 「キァアアアア—————(||||°Д°)—————!!!!!!。た・べ・な・い・でえ~~~~」

ノエ: 「(にこにこ)おっと、聞こえてしまいましたか」

リップ: 「これだけ**ダメット**が騒いでも**ソン**は起きないのね・・・」

ダメット: 「わかりましたよ。いきますよ。いきますよ。運びますよ(. . . (´3`)チヱ怪力 BBA め。。。)」

リップ: 「あらそう? ありがとー!」

アレク: (**ソン**の肩を叩きながら)「朝ご飯は寝ながら食べないでくださいね」

ソン: 「んあっ!? あ、ああ。寝てない、寝てないぞ」

アレク: 「せっかくのおいしいご飯なんですから、寝ながらなんかもったいないですよ」

ソン: 「いやー昨日ちよっと寝付けなくてな・・・」

ダメット: 「**ソン**おきてよ～。怪力 B(ry、じゃなくて**リップ**が荷物運べっていうから手伝ってー」

リップ: 「何か言った?」

ダメット: 「すみません。ハイ。何もいってません。**リップ**様。」

ノエ: >「まあまあ」

ソン: >**ダメット** 「そんならいなら手伝ってやるか。海辺での昼寝も気持ちよさそうだし」

ダメット: 「アリガトー! (しゃー、人夫 GET)」

リップ: 「第一、**ダメット**はこの中で一番年上じゃないかしら?」

ダメット: 「そうだけど、みんな扱いが(°Д°;)…ヒトイ…」

リップ: 「ちかたないね」

アレク: 「ですね」

ノエ: 「それはそうとして、ちょっとレンタルしている馬引き取ってきますね」

アレク: 「私もそろそろ神殿へ行くとしましょうか」

ダメット: 「┐(°Д°)ノ イッテラー」

アレク: (プレイヤー発言) いってらですー

リップ: 「もう皆出て行っちゃうの? ゆっくりすればいいのに。」

ダメット: >**リップ** 「それは、そうと、朝飯おごってくれるんだよね? じゃー、キャットト饅頭とキャロットジュースと朝野菜のもぎたてサラダと後はあ。。。。。」

リップ: 「もちろんいいけど、**ダメット**は**ソン**に朝食を奢るのよね?」

ダメット: 「エツ?(°Д°)ノ マジ?」

リップ: 「だって**ソン**を誘ったのあなたじゃない、朝食くらい奢って当然よね。」

ダメット:「いや～、その～ええっと。(-_-)° zzz…」

ソン:「マジで?じゃあ俺はリップに奢るわ」

リップ:「あらそう?悪いわね」

ソン: (プレイヤー発言) これで平等(多分)

コトリ:「は～い! お待たせしました! ご注文のお品物、まとめてお持ちしました!」コトリが器用に皿を抱えながら皆に朝食を振る舞います

リップ:「もう空腹で倒れるところだったわ。」

コウ:「兄ちゃん達、朝から結構食べるな～」

マシロ:「おまたせ…しました」

ノエ:「マシロもお疲れ様。」

マシロ:「…うんっ」にこっ

GM:コウとマシロは貧民の兄妹で、今はガレオンとそよ風亭のお手伝いをしています。

ダメット:「\(*´▽`)/わ～い。ハグハグ、(´～`)モグモグ」

アレク:「相変わらずおいしいですよ。コトリさん。」

コトリ:「ふふっありがとうございます。コーヒー一杯サービスです♪」

リップ: (プレイヤー発言) 5ガメルのチップをマシロに

マシロ:「ふわ…ありがとう!」ぴよんぴよん飛んで喜ぶ。

ダメット:「べ(・д・)㊤㊤、聞いてよ。マシロ。みんながね僕のことイジメるの」(ゲス顔)

マシロ:「うさぎのお兄ちゃん…元気出して?」なでなで

ダメット:「\(*´▽`)/わ～い」(ドヤ顔)

リップ:「その面をどうにかしないと、分かるわよね?」

ノエ:>ダメット「わるいうさぎはしまっちゃおうねー(縮小札を取り出して)」

ダメット:「(°д°)ハッすいません。ホト o(°д°)すいません。」

ここまでで既にコトの役割が決められている…みんなすごいですね～。そしてマシロちゃん大人気!
可愛い良い子は正義!!

GM:さて、皆が思い思いに朝食を摂っていると、いきなり店のドアが開けられます。

というか蹴破られます

ペンティアー:「(バン!)おーっす!コトリ、飯～」

ルナ:「皆さん!おはようございまーす!」

アレク:「む?」

ノエ:「おや?」

ダメット:「あ、おやびんだ。」

ソン:「朝っぱらから元気だなあ」

ルナ:「昨日は一杯寝ましたからね～!今朝は元気いっぱいっす!」おー!

GM:ヴェルダー海賊団の船長、キャプテン・ペンティアーと、妖精使いのルナ・ユキハの登場です

アレク:「おはようございます。お二人そろってのご登場ですか。」

ペンティーア:「ああ。お宝探しも今のところ一段落してるし、飯はコトリの手作りにかぎるからな！はっはっは！」キャプテンも朝から絶好調です

アレク:「ご飯に関しては私も同感です。」

リップ:「ウンザリするほど元気ね・・・」

ダメット:「(°v^°) オイチよね～。ここのご飯」

ルナ:「はい！私もコトリさんみたいにお料理上手になりたいです！」ほわ～

コトリ:「元気なのはいいですけど、ドアは丁寧に扱ってくださいね・・・もう」二人の朝食の支度に戻ります。

GM:さて、皆が粗方食べ終わった後、マシロがふと皆に尋ねてきます。

マシロ:「ねえ、お兄ちゃん達・・・聞きたいことがあるんだけど、いい？」

リップ:「何かしら」

ノエ:「どうしました？」

ダメット:「(≥▽≤)b 何でも聞いて～」

マシロ:「“さくら”って・・・なあに？」

GM:ほい、ここで見識判定！達成値15

GM:【見識判定】(セージ or バード or アルケミスト Lv+知力B+2D)

一同:(ころころ・・・)失敗・・・

ダメット:「さくらってのは、えっと、通信機で、芝居をする美人局のことで・・・
ってべ(°0°*)ノアレアレー?違う？」

リップ:「さくら?聞いたこと無いわね・・・」

ソン:「んー、知らんなあ」

アレク:「私も知らないですねえ。」

ノエ:「さくらですか・・・。聞いたことがないですね。」

マシロ:「このお店の名前に“さくら”ってあるから、何のことだか気になってたの」

ダメット:「(▽)° エッ?とだねえ、さくらってのは、えっと、通信機で、芝居をする美人局のことで・・・
ってべ(°0°*)ノアレアレー?違う？」

ノエ:「キャプテンは聞いたことがありますか？」

ペンティーア:「いや、俺もねえな・・・」

ルナ:「舞うって事は、花か何かの名前でしょうか・・・？」

PL 視点からしたらポピュラーである桜の花も、ラクシアではマイナーかな～と思ってこの達成値。キャプテンもルナも知らないですからね～ってダメット、嘘はいかんですよ嘘は(笑)

リップ:「コトリさんに聞いたら一番早いんじゃないかしら」

コトリ:「あ、桜の話ですか？それと・・・ダメットさん。残念ながらそれは違いますからね」困ったように笑う

ダメット:「そうなのか～。(φ(-ω-)カキカキ」

コトリ:「私もおばあちゃんに教えてもらったんですけど・・・」と前置きしてから話始めます

GM:桜とは、コトリの祖母の故郷である遠い島国に生息している樹の事で、春になると綺麗な花を咲かせる。しかし、ザルツ地方ではまず見られないそうです。

ソン:「へー」

コトリ:「花が咲いたら、“お花見”って言って、木の下で宴会をやったそうですよ？」

ダメット:「ほへー！宴会？！タダ飯？！」

アレク:「ということは、こちらでは見られないということですか。残念ですね。」

リップ:「宴会ってそんなに綺麗なのかしら・・・」

コトリ:「ええ。それは綺麗な花らしいですよ？確か、今の時期が桜の花が咲いている頃だったかな・・・？」

ノエ:「そうなんですか。いつか見てみたいですね。」

リップ:「絵にしてみたいわね」

GM:その話を聞いて、にやりと笑う男が一人。

ペンティーア:「成る程・・・面白そうじゃねえか。“はなみ”とやら！」

GM:他でもない。キャプテンです

ソン:(・・・なんかやな予感)

アレク:(この人ならそう来ますよね)

ノエ:(やっぱりかー)

ペンティーア:「おいお前等、依頼だ！」

依頼「俺を花見に連れて行け」・・・報酬 1500G/人

遠く離れた島国に咲いている桜の木の下で花見をする。なお、この依頼にはキャプテン、エスト、コトリ、ルナ、コウ、マシロも同伴させるものとする。

ダメット:「おやびんが宴会の費用全部もってくれるなら、いいよ。」(ゲス顔)

リップ:「あら、コトリさんも連れて行ってお店は大丈夫？」

ペンティーア:「あ？一日くらい休みにしたって平気だろ」

リップ:「本人はいいのかしら？」

コトリ:「そ、そんな・・・お店を開けるなんて・・・でも」コトリは遠慮しながらも行きたがってます

リップ:「まあ・・・こうなるわよね・・・」

ペンティーア:「遠慮すんな！皆まとめてつれてやる！なんせこっちにはガレオンがあるんだ。

島国なんざ関係ねえさ！」

ダメット:「お、おやびん。。。タダ飯・タダ酒。。。。。」

ペンティーア:「おう、諸経費は全部俺持ちで構わないぜ！ついでに飯はコトリの料理だな」

ダメット:「やったー、おやびん、太っ腹～」

リップ:「忘れてたけど、皆はこの依頼受ける気はあるの？」

ノエ:「ええ、せっかくの機会ですし。」

アレク:「私は是非受けたいと思っています。神殿の新たな資料になるかもしれませんし。」

ダメット:「いくよー。僕もいくー」

ソン:「俺も行く。そろそろ稼がなきゃな。」

リップ:「もちろん私も行くわ。決まりね」

コトリ:「う～ん・・・皆さんがそう言うんだったら・・・一日だけ、お休みもらっちゃおうかな」

ペンティーア:「よっしゃ、決まりだな！出発は明日の早朝！ガレオンで一気に島まで飛ぶぞ！ルナ！花見の事調べとけ！コトリは弁当！他の奴らは宴の準備！いいな！」

ソン:「おー」

リップ:「Yo,ho,ho！了解よ、キャプテン」

ノエ:「畏まりました。」

アレク:「また新しいものが見れそうですね。」

ダメット:「おー」

GM:さて、そんなこんなで導入は終了～！準備フェイズ！

ダメット:(*´д`*)モット激しく!!暴走していいですか？

ルナ:「構わん！やりましょう！」おー

ダメット:(プレイヤー発言) (ノド) よし！言質とったw

コトリ:「でも、あんまりオイタが過ぎるとお弁当ぬきですからね」にこっ

ノエ:(プレイヤー発言)魔晶石3点分買いましたー

アレク:(プレイヤー発言)知性の腕輪を1つ買い足しました。

GM:了解～！他の皆は準備いいかな～？

一同:おっけーでーす！

GM:ほいほい！では場面転換～！

面白い事はどんどんやろう！しかしダメット・・・良く動きますね～(笑)あと、個人的にリップの「Yo,ho,ho！」はカッコいい！キャプテン達ももっと海賊らしい振る舞いをしないもんですかね～？(汗)

・進めガレオン！目指すは東！ハツネ島！



GM:明けて翌日、ガレオンに乗り込んだ皆は、半日掛けて桜が咲いている島“ハツネ”にやってきました！

GM:>ダメット あ、ゲンコツダメは回復していいですよん

ダメット:(プレイヤー発言) はい

(乗っている間の幕間)

ノエ:「そういえば皆さん知っていますか？夏の夕方に蚊柱をつくるユスリカ類の幼虫はだ線染色体という通常よりも大きい染色体を持っているんですよ。あと血を吸わないんです。面白いですよね～～。(にこにこ)」

ダメット:(プレイヤー発言) 生物。懐かしす。あれ、生化学だったかな？

マシロ:「だせんせんしょく・・・？」

ソン:「お、おう。」(何言ってるかわかんねー)

ルナ:「か、漢字がいっぱい・・・頭痛いです・・・きゅう」←ページ9

ノエ:「ミツバチのダンスも面白いですね(にこにこ)」

リップ:「きもちわるい……」

コウ:「なあ**ノエ**兄ちゃん、それどこで仕入れた知識だ……？」

ノエの経歴表「役に立たない知識を持っている」を活かしたRPですね～。しかしGMも何言ってるか分からん……。勉強すっか！

GM:ちなみに途中で、ラプテラスやエルダードラゴンに襲われそうになりましたが、ガレオンの主砲で全部ぶっ飛ばしました

リップ: (プレイヤー発言) エルダードラゴンwwwwwwwwww

ノエ:くわしく

アレク: (プレイヤー発言) まじかwww

ダメット: (プレイヤー発言) 説明を求む。**GM**

GM:説明しよう！ガレオンに搭載されている主砲は五連装ジェノサイドバレットキャノンなのだ！

キャプテンの指先一つで蛮族なんかノックダウンだぜ！

リップ:おそろしやジェノサイドバレット

ノエ: (プレイヤー発言) もうこの船だけでいいんじゃないかな……

ダメット: (プレイヤー発言) にしても、命中力がすごい。伝説級の射手がのっているのか。この船

リップ: (プレイヤー発言) ワザマエ！

GM:キャプテンはシューターレベルも高いからね！

この時、エルダードラゴンの強さと大切さを軽視していたGM(笑)ガレオン、デュポール辺りに行ったら全面戦争になるんじゃないでしょうか？(滝汗)

GM:さて、島に着いたガレオンは、近場の砂浜に停まりました

ペンティアー:「さーて、着いたぞ！ここからは歩きだな！」

リップ:「長い間空にいたせいか、フワフワするわね……」

ダメット:**ノエ**の馬にロープをくくりつけ、板の切れ端と結び合わせる。

リップ:>**ダメット**「何やってんの……**ノエ**に怒られるわよ……」

コウ:「ん？うさぎのに一ちゃん歩かないのか？」うきうき

マシロ:「お花見……お花見……」わくわく

ダメット:「え？！歩くのだるいしい。。。。。」

ノエ:「悪いウサギさんはしばらくつけておこうね～」

リップ:「そうね、歩くのだるいなら足にロープをくくり付けて引きずり回すのとかどうかしら」

ノエ:>**ダメット**「縮小札(仮死状態)と矢面どっちがいい？」

ダメット:「歩きます。はい。」

ノエ:「**コウ**、**マシロ**、疲れたら馬さんに乗りなさいね」

二人:「うん！」

GM:さて、そんな感じで出発しようとする皆の前に、ひゅるる～と飛んでくる妖精が

GM: 皆の周りを飛び回りながら、何かを伝えようとしてます

ノエ: 馬「どうしたうまー(馬語)」

GM: 馬 wwwww

ソン: 「妖精か?めずらしいなー」

リップ: 「ん?妖精いるの?私には見えないから残念ねー」ルンフォなので見えない感じで

ノエ: 「馬が反応しているので何かがいるとは思いますが・・・」おなじく

妖精: 「(くいくいっ!ひよい!ひよい!ひゆるるん!)」必死に何かを話してる

アレク: 「ルナさん。なんて言ってる？」

ルナ: 「何ですかあ?ふんふん・・・翻訳しますね」

やっぱり妖精語はフェアリーテイマーじゃないと序盤は習得しないですよね～。というかルナさん、ここに来て初めての活躍(爆笑)!連れてて良かったお花畑エルフ。

ルナ(翻訳中): 「お花見に来たなら、ここから南に歩いて三時間の所にあるよ！」

アレク: 「私たちほんとにいらなかったんじゃないか?w」

ソン: (プレイヤー発言) ただの道案内だった!?

ノエ: 馬「どうしてはなみにきたとおもうウマか？」

ルナ(翻訳中): 「でも場所取りは急いで!さっき蛮族が通っていったよ?

あいつらもお花見したがってるみたいなんだ！」

リップ: 「お花見に来たのを知っている・・・妖精も侮れないわね・・・」

ルナ(翻訳): 「ここはお花見の名所だからね!ボクは案内役なんだ！」

ダメット: そこらへんの石ころをボールに見立てて、パターゴルフを始める。

ノエ: 馬「なるほど・・・。」

アレク: (プレイヤー発言) 馬wwwww

ルナ(翻訳): 「それからね、蛮族達には内緒なんだけど・・・最高のお花見を楽しみたければ、桜に捧げる神酒が必要なんだ。神酒がある泉は、ここから南西に2時間だからね！」

ルナ: 「・・・だそうです」

ペンティアー: 「最高のお花見か～!どうせみるならそっちの方がいいな！」

ルナ: 「お酒を取りに行く人と、場所取りをする人、別れた方がいいみたいですね・・・」

ダメット: 「お酒いくー」

アレク: 「先に場所を取ってから神酒を取りに行っはだめですかね?

今のところ蛮族は知らないようですし。」

GM: ちなみに妖精さんが「泉から桜までは歩いて2時間かかるよ?」とルナに教えてくれました。

ノエ: 「そうですね。花見をしている所に全力チャージしましょう。」

ダメット: >ノエ 「えー、(♫)ウマーに乗りた(楽したい)からお酒取りに行こうよ～」

GM: 現在時刻は午後一時です

GM: ちなみにペンティアー、コトリ、コウ、マシロは場所取りを選択しました。ルナは皆の意見に従うそうです。

アレク: 「キャプテンは戦闘に参加します？」

ノエ:(プレイヤー発言) 参加したら酷いことになりそうw

リップ:(プレイヤー発言) 依頼主に戦闘させるわけにはいかんなw

ペンティアー:「別に闘ってもいいけど・・・お前等、殺風景な所で花見したいか？」

エスト:「キャプテンが戦闘した場合、半径 1 キロは穴だらけかと・・・」

アレク:(プレイヤー発言) あかんwwwwww

ノエ:(プレイヤー発言) ですよー

ダメット:(プレイヤー発言) 焼け野原でお花見したくない w

ノエ:(プレイヤー発言) 斬新過ぎる w

キャプテン参加は参加させたら偉いことになるよ～・・・多分。さてさて、相談の結果、
[お酒]**リップ**、**ノエ** [場所]**ダメット**、**アレク**、**ソン**、**ルナ**という組み分けになりました。

・お酒調達任務、開始！



GM:んでは、別れて行動開始、まずはお酒組と行きましょう！
場所取り組はちょっと待っててね

リップ:これでルンフォじゃ見えない神に酒くれっていう話だと泣く

ノエ:たしかにwー

アレク:(プレイヤー発言) あれ？もしかしてミスった？ww

ノエ:(プレイヤー発言) 馬がなんとかしてくれるさw

ソン:(プレイヤー発言) 馬万能説

アレク:(プレイヤー発言) 馬頑張ってww

GM:さて、**リップ**と**ノエ**が泉に行くと・・・先客がいるようですね

ノエ:「**リップ**さん、降りてください。」

リップ:「了解よ」

GM:ゴブゴブ言いながら、泉の水をへべれけ顔で飲んでる蛮族が2体

あ、ちなみに連絡用に**エスト**を同行させるよ

リップ:(プレイヤー発言) ほい、蛮族はこちらには気付いてますか？

GM:酔っぱらって気付いてません

エスト:「ふむ・・・においから察するに、この泉の水がお酒みたいですね」

リップ:「そうね・・・まずはあいつらからやりましょうか」

ノエ:「そうですね・・・」

ノエ:> **GM** 30m ぐらいの距離を取れますか？

GM:では！戦闘だね！あ、戦闘は簡易だよ

ノエ:じゃあ20mまでかー

リップ:(プレイヤー発言) 簡易か了解

GM:今なら気付かれてないからそれぐらいの距離はとれるけどね

ノエ:(プレイヤー発言) その距離がチャージの最高火力なんですよね w

GM:なるほど。んでは準備するからちょっと待ってね

(GM 準備中…)

GM:ほいお待たせ

GM:んでは最初は魔物知識判定！達成値は 5/10

二人:(ころころ…)正体のみ判明

GM:では正体だけ、お察しのとおりゴブリンです。ルルブ I 改訂版の 373 ページね

んでは続いて先制判定！達成値 11

ノエ:(プレイヤー発言) ひらめー

リップ:(プレイヤー発言) 気付いてないけど奇襲はできないのかw

GM:では先制が取れたら1ターン目のみこちらの回避-2にしましょう

リップ:(プレイヤー発言) ひらめー

リップ:2D6 合計:11 <5,6>

ノエ:>**リップ** (プレイヤー発言) すげー

GM:うん、先制おっけー！ではそちらからだ！

リップ:(プレイヤー発言) じゃあ自分からいいかな？ゴブ A にクリティカルバレットで命中判定

GM:ほい！回避8だよ！

リップ:2D6+7 合計:15 <5,3>+7

リップ:R20C9+8 合計:12 <[1_6]> = <5>+7

GM:ほい、12 点直通だね

GM:ゴブ A「ゴブ？(な、なんだコイツ等！？@汎用蛮族語)」

GM:ほいほい、**ノエ**どうぞー！

ノエ:それじゃ、補助動作でキャッツアイ。主動作でチャージします。

ノエ:2D6+7 合計:16 <3,6>+7

ノエ:>**GM** 距離は何mでしたっけ？

GM:相手が陣地だから20m だね。対象は A かな？

ノエ:>**GM** うーん、B にします。

GM:おっけい！ダメージどうぞ！

ノエ:R30C10+14 合計:18 <[1_4]> = <4>+14

GM:おおう、一撃 wwww

ノエ:「くらえ！」

GM:B「ゴブうううう……」吹っ飛ばされてバタンキュー！

リップ:「すごい勢いね……」

ノエ:(プレイヤー発言) おぞましき鉄串状態じゃなくて良かった…

GM:ではこちらのターンだね。A が**ノエ**に攻撃！命中10だよ！避けてみよう！

GM:【回避力判定】(回避力+2D)

※回避力=ファイター・グラップラー・フェンサーいずれかの Lv+敏捷度B

ノエ:2D6+2 合計:6 <1,3>+2

ノエ:「よける気などない！」ダメージ下さい

GM:ほいほい！2D6+2 合計:6 <1,3>+2

ノエ:カキンッ

GM:A「ゴブッ!？」

ノエ:(プレイヤー発言) 防護点8ありますw

GM:流石にゴブゴブじゃ荷が重いね～ではお二人のターン！

リップ:「ノエに任せるわ」

ノエ:>リップ「任せてください」

GM:今度は回避10だよ～！

ノエ:(プレイヤー発言) いきまーす

ノエ:2D6+5 合計:10 <3,2>+5

GM:同値ひらりっ！

リップ:「・・・」

ノエ:「・・・」

エスト:「・・・リップさん、とどめを」

リップ:(プレイヤー発言) ソリッドバレットでゴブ A

リップ:2D6+7 合計:14 <5,2>+7

リップ:R20C10+7 合計:13 <[6_2]> = <6>+7

GM:A「ごぶっ!」ヘッドショットでバタンキュー！

リップ:「終わりね」

ノエ:「お疲れ様です。」

GM:二人はゴブリンをやっつけた！剥ぎ取りする？

リップ:(プレイヤー発言) しまーす

ノエ:(プレイヤー発言) もちろん

GM:ほーいー回ずつダイスどぞ

リップ:2D6 合計:4 <2,2>

ノエ:2D6 合計:9 <6,3>

GM:ほい！戦闘報酬は共有にかいとくよ！さて、ゴブリンを蹴散らした。周りにはもう敵の気配はないね

ノエ:(プレイヤー発言) 周囲を見渡しますー

リップ:「さっきのゴブリンを見る限り、泉自体が酒みたいね」

エスト:「その様ですね・・・調べてみましょう」

GM:二人とも探索判定どうぞ！達成値9！

GM:【探索判定】(スカウト or レンジャー or ミステック Lv+知力B+2D)

二人:(ころころ)・・・成功！

GM:達成値クリアだね～

GM:では、その泉からわき出る水(お酒?)の事が分かった！

【花見酒“ソメイヨシノ”】

最高の花見をするために必要な供物の一つ。これにあるものを捧げると、最高の神酒が出来るという。

リップ:「これが神酒で間違いないよね」

GM:ちなみに、キャプテンが「しこたま持ってこい！」といって水袋をたくさんくれた事にしましょう。

ノエ:「それではしこたま入るとしましょうか。」

リップ:「そうね」

GM:では二人はお酒を水袋に組んだ後、お花見の桜に向かった…という所で、こちらは一旦終了します

ノエ:はい

リップ: (プレイヤー発言) バトンタッチだー

・長い尻尾にご用心!?



GM:では、お待たせしました！場所取り班いきますー！

ソン: (プレイヤー発言) 出番だー

アレク: (プレイヤー発言) おっけーで一す

ダメット: (プレイヤー発言) あーい

GM:キャプテン「ま～ってろよ～生きてろ～よ♪」キャプテンは上機嫌に歌を歌いながらずんずん進みます

アレク: (プレイヤー発言) もしやのゴーゴーファオブw

アレク:「上機嫌ですねえ。」

ソン:「大声出したら蛮族に気づかれるんじゃ…別にいいけど」

ルナ:「だいじょーぶですよ！敵が来たら私が妖精魔法でばばーんとやっちゃいます！」

アレク:「あなたの魔法は不安です…。」

ルナ:「だいじょーぶですって～どうせ大した奴出てこないですって」ぐにっ！

ダメット:「なんかふんだよー、ルナ～」

ルナ:「ふえ？」

??? :「ぐにやあああああつ！」

GM:ルナが踏んづけたのは、2メートルあろうかという魔物の尻尾でした

ダメット:「(メ・ん・)？なんかあった？」

アレク:「またあなたは厄介事を…。」(肩を落とす)

ソン:「なにやっとなじゃー!？」

ルナ:「ふええええん！ごめんなさーい！」

??? :「ふしゅううううう…」いきなり尻尾を踏まれた魔物はすっごく怒ってる！

アレク:「今更謝ってもダメ…ですよねえ。」

ダメット:>**アレク** 「一応謝ってみてよう。」グイグイ通す

アレク:「だめでしょう。あれは。」

??? :「ギニャアアアアア！」絶対許さない

ダメット: (プレイヤー発言) これは、ダメな予感w

ペンティーア:「まったく面倒な…コトリたちは俺が見る。さっさと片付けろ」

GM:では、戦闘行きましょう！

アレク:(プレイヤー発言) おー

ソン:「はあ…とりあえず学者、あれ何」

アレク:(プレイヤー発言) まもちきー

ダメット:(プレイヤー発言) 同じくー

GM:さて、敵の数は同種が2体。達成値は12/15

アレク:ペネトレイト詠唱

ソン:(プレイヤー発言) 一応平目で

ソン:2D6 合計:2 <1,1>

ソン:(プレイヤー発言) 50点いただきます！w

一同:おめでとー！

アレク:2D6+8 合計:20 <6,6>+8

アレク:(プレイヤー発言) なんだこれww

ソン:(プレイヤー発言) 極端なw

GM:ほい！では弱点つきで見抜いたね wwwww

GM:相手はグレイリンクス。詳細はI改訂382ページ。弱点看破で魔法ダメ+2だよ

アレク:(プレイヤー発言) ラッキーですね

ダメット:(プレイヤー発言) やった

ルナ:「ふっふっふ…魔法が弱点ですか。私の出番のようですね」

ダメット:「じゃー、よろしく。ルナ。オイラ見てるね。」

ソン:「そっすね。で、宝石は？」

ルナ:「ふふん！任せてください！ファイアーストームでちゃちゃっと…あれ？」ごそごそ

リップ:(プレイヤー発言) アカン

ノエ:(プレイヤー発言) そんな気はしてた…

ルナ:「あーっ！！！！！！ガレオンに忘れてきました！！！！！！」ががーん

アレク:「だと思いましたよ…」

ルナ:「ううう…お花見だから浮かれちゃいました…でも！」

私には…これがありますっ！」マテリアルカードちゃきーん！

ダメット:「じゃ、ルナ前衛ね。頑張って」

ルナ:「えええっ！？そんなあ……」

アレク:>**ダメット** 「はいはい。冗談はいいですから、さっさとやりますよ！」

ソン:「はいはい、さっさとぼこってさきすすむぞー」

GM:というわけで、ルナはアルケミスト7で皆のサポートをします

ルナの強さが知りたい場合は、GMのマイページにキャラシがあるよ

ちなみにルナさんはフェアリーティマー13、アルケミスト7、セージ9。二話幕間でも書いたのですが、とりあえずこちらも。というか二話で書いて無くてすみません、ホントすみません(泣)

アレク:(プレイヤー発言) つええですww

ダメット:(プレイヤー発言) なんという、チートキャラw

ノエ:(プレイヤー発言) やだこの 117 才児つおいw

ダメット:(プレイヤー発言) なぜ、宝石をわすれた w

GM:ルナだからね wwwww

ソン:(プレイヤー発言) ちかたないねw

GM:ちなみに、ルナは宝石忘れたショックでその他判定を行えません。先制判定は皆で頑張ろう
イニシアティブブースト掛けて欲しかったら A まで掛けるよ

GM:ちなみにグレイリンクスは12だよ

ソン:(プレイヤー発言) 一応イニブもください

GM:おっけい！ んじゃ全員先制値に+2！

ソン:(プレイヤー発言) 全員とは大盤振舞な w

GM:持ち物欄をみるといい。マテリアルカードの数が違う

ソン:(プレイヤー発言) 各ランク 100 枚www

ソン:2D6+8 合計:19 <5,6>+8

ソン:(プレイヤー発言) イニブいらんかった

アレク:(プレイヤー発言) さっきから出目w

GM:**ソン**すごい wwwww

ダメット:(プレイヤー発言) んだんだ

イニブー掛ける必要なかった・・・割とよくある事ですね(笑)しかしルナさんの設定、NPC だから適当に決めたんですが・・・。全色全ランク100枚っていくらになるんでしょうね？(笑)

GM:んでは皆からの先行！ルナさんの賦術もあるよ？一応

アレク:(プレイヤー発言) 前衛さんにクリティカルレイできます？

ダメット:(プレイヤー発言) >**GM** アルケミ1~3にのってない(´Д`)

アレク:(プレイヤー発言) 持ってなかったww

アレク:(プレイヤー発言) ごめんなさいw

GM:クリレイは覚えてないなあ・・・あ、賦術の効果は随時説明するね

ソン:(プレイヤー発言) クリレイは対象接触なのでどちらにしる駄目ですねw

GM:味方を強化できるのは、物理点アップのヴォーパルウエボンと防護点上げのパークメイル。それから魔法ダメ上げるリーンフォース

アレク:(プレイヤー発言) じゃあ私か**ダメット**さんにリーンフォースですかね

ルナ:「う～こうなりややけです！カードはぶん投げる物～」ばさばさ！

GM:では A カードを4枚つかって**アレク**と**ダメット**にリーンフォース。魔法ダメージ追加1点どぞ

アレク:(プレイヤー発言) **ダメット**さんどぞー

ダメット:(プレイヤー発言) これで、魔法ダメ+3点か～

ダメット:(プレイヤー発言) **GM** 魔法って1回につき何個魔晶石つかえます？

GM:一個だね

ダメット:「スパーク 魔晶石 1 個仕様」

GM:了解！行使判定どうぞ！こっちの抵抗は10

GM:【行使判定】(魔力+2D)

※魔力=ソーサラー・コンジャラー・プリースト・フェアリーテイマー・マジテックいずれかのLv+知力B

ダメット:2D6+7 合計:16 <5,4>+7

ダメット:ROC10+10 合計:13 <[3_6]> = <3>+10

GM:ほい！13点だめ

猫s:「ぎにゃあああああ」バチバチバチ

GM:2体とも残り6だよ！

アレク:フォースが射程 10m なんて見えます。

ソ:では続いて突っ込みます。キャッツアイ使って A に攻撃

GM:ほい！回避12だよ

ソ:2D6+6 合計:8 <1,1>+6

ソ:(プレイヤー発言) うはw

アレク:(プレイヤー発言) あららw

ダメット:(プレイヤー発言) ドン(°д °)マイ

GM:そんは斬りかかろうとした瞬間に石につまづいてしまった！

ソ:(プレイヤー発言) 今日の出目はやばい w

GM:ではこちらで。猫A、目の前のソに攻撃！命中11だよ

ソ:(プレイヤー発言) ほいほい

ソ:2D6+8 合計:17 <3,6>+8 ひらーり

GM:つづけて B もソへ！

ソ:2D6+8 合計:17 <5,4>+8

GM:猫の攻撃はソにかすりもしない！

ソ:「避けるのは得意だ！」

猫:「ふーっ…ふーっ…」猫たちは肩で息をしてるよ！

GM:皆のターン！

アレク:(プレイヤー発言) ソさん先に殴ってください！残ったやつを私がやります

ダメット:「じゃー某魔神の力をかりてサンダーブレイク(スパーク) 魔晶石 1 個消費」

ソ:(プレイヤー発言) ヤメテ！w

GM:魔法制御ないとソをまきこんじゃう www

アレク:(プレイヤー発言) 巻き込むんじゃww

ダメット:(プレイヤー発言) あ、どうします？殴ります？

ダメット:(プレイヤー発言) wwwww

アレク:(プレイヤー発言) 殴ってくださーい

GM:ちなみに回復なら後でも出来るという選択も…

ソ:(プレイヤー発言) 殴るのでパラミスください

ソ:「こっちの懐は痛まないしな」(ホッ)

ルナ:「まっかされよ〜！」緑カードちゃきん！

GM:2D6+11 合計:18 <3,4>+11

リップ:(プレイヤー発言) ジャイアンwwwww

GM:うん、抵抗抜き余裕。A で切ったから猫 2 体回避 -2 だよ

ルナ:「うう…今月のお小遣い…キャプテンに相談です…」さめざめ

ソ:ではあらためて A を殴ります

ソ:2D6+6 合計:9 <2,1>+6

猫:「にゃああ！」ひらり！

アレク:(プレイヤー発言) 相変わらずの出目ww

ソ:「…ハハハ。モウスキニシテ」

ダメット:(プレイヤー発言) やっぱスパークうとう

アレク:(プレイヤー発言) 私がフォース打ちますよー

GM:どっちが行こうか？

アレク:(プレイヤー発言) 良いです？

GM:射程大丈夫かな？

アレク:(プレイヤー発言) ソに攻撃してる時点で前進してませんか？

アレク:あ、してないか。じゃ無理だww

GM:だね、ソは敵陣に突っ込んでる形

ダメット:(プレイヤー発言) どの道1体残るので、

アレク:(プレイヤー発言) うーん さっき通常移動しとくべきでしたね

GM:スパークなら5体まで巻き込めるよ？

ダメット:(プレイヤー発言) スパーク全焼きで回復もありかなと

アレク:(プレイヤー発言) スパークやっちゃう？(ワクワク)

ダメット:(プレイヤー発言) ソ次第 w

ソ:(プレイヤー発言) やっちゃってもいいよ？w

アレク:(プレイヤー発言) お任せしますw

ダメット:「じゃー某くろがねの魔神さん、お力をサンダーブレイク(スパーク)。魔晶石 1 個使用」

GM:ほいほい！偉大なる勇者の加護を受け行使どうぞ！

ダメット:2D6+7 合計:15 <3,5>+7

GM:ほい抜いた。あ、ソも抵抗判定してね

ソ:2D6+4 合計:11 <1,6>+4 無理っすw

ダメット:R0C10+10 合計:10 <[1_3]> = <0>+10

GM:ソは弱点無いから8点だめ。猫は黒こげぎにゃああ

ソ:「あばばばば！？」

アレク:「見事に焼けましたね。」

ダメット:>ソ 「\(*´▽`)/焦げてる焦げてる」

GM:では戦闘終了！剥ぎ取りするかな？

ダメット:(プレイヤー発言) 先にソの回復を

GM:ほいほい

アレク:(プレイヤー発言) 私がやりましょう。なにもしてないんで！w

GM:あらら ww どぞー！

ダメット:(プレイヤー発言) じゃ、お願いします。

ソン:(プレイヤー発言) まもちき6ゾロは十分な活躍ですよw

アレク:ソンにキュア・ウーンズ

アレク:R10C13+8 合計:11 <[6_1]> = <3>+8

GM:全快だね!!あ、行使・・・は、いいかサービス!

ソン:「あ、ありがとう・・・ございます」

ソン:(プレイヤー発言) ソンは体育座りしてるんで剥ぎ取りどぞ

GM:>ダメット >アレク では剥ぎ取り一回ずつどぞどぞ

ダメット:(プレイヤー発言) >ソン 譲るー

アレク:2D6 合計:7 <2,5>

ソン:2D6 合計:6 <3,3>

GM:ほい、では報酬は共有に～

ルナ:「山猫さんなんて目じゃないです!正義は勝つ!です!」えっへん!

ダメット:「宝石忘れて、今月ぴんちなのにい。。。。。」(ぼそつ)

ルナ:「いやああ!言わないで下さいiiiiii」涙だばー!

ペンティアー:「終わったか・・・と、エストから連絡だ。

向こうも酒仕入れたみたいだし、さっさと場所取りいけぜ」

ダメット:「あ～い」 きっと今ソンの髪型はアフロ波平

ソン:「うい～っす」どんな髪型w

アレク:「了解。」

ダメット:(プレイヤー発言) 中心に髪の毛1本。周りハゲ。耳元アフロ

やっぱり範囲魔法は強力だなあ・・・そして地味にペネレイトの便利さに舌を巻いていたGM。特殊神聖魔法も今度ちゃんと調べてみようっと←神官 PC 作成経験ゼロ

・桜に到着!悪戯ウサギが波乱を呼ぶ!?



GM:ではでは、場所取りメンバーは、その後は魔物との遭遇も無く、桜のところまで辿り着く事が出来ました。

ダメット:「なんか、ピンクの花がさいてるー」

GM:皆で待っていると、お酒をとってきたリップとノエがやってきます

アレク:「お、来たな。」

リップ:「ラム酒じゃないけど、お酒は持ってきたわよ。」

ノエ:「お待たせしました。」

ダメット:「おかえりー」

コウ:「リップ姉ちゃんにノエ兄ちゃん、お帰り!」

マシロ:「おつかい、おつかれさま」にこ

ノエ:「二人ともただいま。」

リップ:「ただいま。」

ペンティーア:「おう、ご苦労さん！で？例の酒は？」

リップ:「これよ。」大量の水袋を置く

ノエ:「こちらです。」といて差し出します。

コトリ:「確か、これを桜に捧げれば最高のお花見が出来る・・・でしたよね？」

ダメット: >GM 提案が

GM: ほうい？

(ウサギ相談中・・・)

GM: いいよん www やってみよう！

ダメット: 「にひひひひ。ダークミスト」

GM: もわわん！皆の前に黒い霧が立ちこめる

リップ: 「ちよっ！何すんのよ！」

アレク: 「は！？おい、ちよ・・・」

ソン: 「うわ、なんだ！？」

ノエ: 「ッ！？」

GM: んじゃダメットの行使と皆の精神抵抗判定の比べ合い行ってみよう！

ダメット: 2D6+7 合計: 17 <6,4>+7 しゃー！

GM: 高い wwwww

アレク: (プレイヤー発言) たけえよwww

ソン: (プレイヤー発言) ww

ノエ: (プレイヤー発言) ドンだけ飲みたいんだ w

リップ: (プレイヤー発言) アカン

リップ: 2D6+4 合計: 10 <2,4>+4

アレク: 2D6+7 合計: 15 <2,6>+7

ソン: 2D6+4 合計: 12 <4,4>+4

ノエ: 2D6+4 合計: 9 <4,1>+4

ルナ: 2D6+17 合計: 26 <5,4>+17

GM: さすがルナさん、なんともないぜ！

ダメット: (プレイヤー発言) ちよっ w

アレク: (プレイヤー発言) さすがっすwww

ノエ: さすがw

GM: でもルナさんは、お小遣い勘定してて気がつかなかった！

ダメット: >ALL 「悪いけど、こんなうまそうな酒は 1 番に飲むに限りと思うんだ。」

リップ: 「アレク、キュア・ブラインドネスよ」

ダメット: 「ごめん隊<()><()><()>参上。Σ (ノ≥μ≤) てへぺろ」

GM:そして**ダメット**は皆から離れてお酒を飲もうとします

アレク:(プレイヤー発言) ブラインドネスでいけます？

GM:ん？やらんでもいいよ？ギャグ魔法で効果までは適用しない

アレク:(プレイヤー発言) おけっす

流石にギャグ(しかも身内)の RP で MP 消費はもったいないしね～

ダメット:「ふたを、開けてっと。お一芳しいコメの香り。まるで糺祭のようだ。」

ノエ:>**ダメット**「やめるんだ**ダメット**ッ！ 船長にやられるぞ！」

ダメット:(プレイヤー発言) 船長 (/ω・\)チラッ(/ω・\)チラッ

GM:ふんわり漂うお米の香り、それに酔いしれる**ダメット**。では、危機感知判定お願いします。

GM:【危険感知判定】(スカウト or レンジャーLv+知力B+2D)

アレク:(プレイヤー発言) うわw

ダメット:2D6 合計:12 <6,6>

GM:第六感使うまでもないね wwww

ノエ:(プレイヤー発言) ちょっw

ダメット:(プレイヤー発言) キター——(∩(〇=(∇)=〇)∩)——!!これで、かつる

アレク:(プレイヤー発言) だから出目www

ソン:(プレイヤー発言) 6 ソロwww

GM:では**ダメット**は後ろから覆い被さる大きな大きな影に気がつくね

???:「(のっしのっし)ぐるるるる……」

ダメット:「ウ… ウン(…), 暗いぞ?(° ∩ °)ハッ!殺気?！」

GM:がおーと噛みつかれる寸前に、気がついた**ダメット**は間一髪で脱出に成功！

ダメット:「な、なんだ？あぶにやい?！」

GM:とっさの一撃をよけて振り返ると、10mはあろうかという大きな魔物が獲物を狙う目で皆を見てるよ！

リップ:(プレイヤー発言) こいつはやべー

ダメット:(プレイヤー発言) あかん、これ死ぬ奴や。節子

アレク:(プレイヤー発言) 避けなかったらどうなっていたんだろう

ダメット:(プレイヤー発言) うさぎ肉 GET

GM:では戦闘だよん！まずはまもちきいってみよう！達成値は 9/13

一同:(ころころ…)

GM:お、**アレク**弱点まで抜いたね。

リップ:(プレイヤー発言) 相変わらずの達成値

ノエ:(プレイヤー発言) さすがキルヒア神官

ダメット:(プレイヤー発言) ナイス

アレク:(プレイヤー発言) どもども

GM:魔物はキプロクス！詳細は I 改訂384ページ。

ダメット:(プレイヤー発言) それ、あかんやつや w 尻尾とプレスに恐怖心が蘇るううううううう

アレク:(プレイヤー発言) 3 部位+大きな体かあ…

ノエ:>**ダメット** (プレイヤー発言) かまれなくて良かったねw

ダメット:>**ノエ** (プレイヤー発言) ほんとそうw

GM:ついでに各部位にかけら2個入りだからガンバ！先制11

ちなみに桜の木の下でお小遣い数えてるダメエルフどうする？

ダメット:(プレイヤー発言) **ノエ**のチャージで前線にふっとばすw

ソン:(プレイヤー発言) その姿見てるとちょっとかわいそうかなあw

リップ:(プレイヤー発言) PT だけで倒しますかw

GM:それでいいかな？

アレク:(プレイヤー発言) ですねw

GM:ではルナは参戦させないという事で。先制判定どうぞ！

一同:(ころころ...)成功！

GM:おっけ！抜いたね！皆の先行だー！

キプ:「ぐあああああ！（酒よこせええええ！！）」

ダメット:(プレイヤー発言) 弱点抜いてるから魔法+2ですか？**GM**

GM:炎属性ダメージ+3だね。前衛二人にファイアウエポン掛けると幸せかな？

ダメット:(プレイヤー発言) じゃ、ファイヤ・ウエポン祭りか

ダメット:>**ソン** >**ノエ** >**リップ** (プレイヤー発言) じゃ、先にファイヤウエポンをかけるねー

ダメット:「じゃ、ファイヤウエポン(°_°)ウマー・**ソン**・**ノエ** 魔法拡大数。魔晶石1個消費」

ダメット:2D6+7 合計:16 <6,3>+7

GM:おっけいだよー！

アレク:(プレイヤー発言) **GM** 今位置関係ってどうなってます？

GM:んとね、キプが前線だから彼我の距離10m

アレク:とりあえずフィールドプロテクションかけます！

アレク:2D6+8 合計:13 <4,1>+8

アレク:味方全員に物理・魔法ダメ-1 です

GM:では次かもん！

リップ:(プレイヤー発言) いきますー。クリティカルバレットで尻尾に命中判定

リップ:2D6+7 合計:15 <5,3>+7

リップ:R20C10+7 合計:11 <[1_5]> = <4>+7

GM:11点もらって...尻尾残り20だね！お次どぞ！

ノエ:(プレイヤー発言) 尻尾に当たれば一撃かなー

ダメット:(プレイヤー発言) **ノエ**いってー！おいらのMPは後9よ

GM:おお...

ノエ:(プレイヤー発言) あいよー。補助動作でキャッツアイ、通常移動で接近、
全力攻撃を宣言して尻尾に攻撃+馬さんキック

ノエ:(プレイヤー発言) じゃ、自分から

ノエ:2D6+5 合計:15 <5,5>+5

GM:ほい命中！

ノエ:R30C10+19 合計:27 <[6_2]> = <8>+19

リップ:(プレイヤー発言) これはw

ソン:(プレイヤー発言) 攻撃力高いなあ

GM:すごい www 尻尾おとしたよ!

ノエ:>**GM** (プレイヤー発言) この場合、お馬さんは補助動作で攻撃だから別なの攻撃していいんだっけ?

GM:おっけい!

ノエ:(プレイヤー発言) じゃあ胴体に...

ノエ:2D6+5 合計:13 <6,2>+5

ノエ:2D6+7 合計:13 <2,4>+7

ダメット:>**ノエ** (プレイヤー発言) 重戦車

GM:ほい、防護点はきっちり引いて残り33!

GM:**ノエ**の攻撃は尻尾を引きちぎりそのままキップに体当たり!

キップ:「ホギョワアアアアアア!!」

ノエ:(プレイヤー発言) 火力馬鹿すぎるw

GM:お次どうぞ!

ソン:キャッツアイ使って胴体に攻撃ー

ダメット:(プレイヤー発言) しっぽがつぶれたのは、うれしすぎるw

ソン:2D6+6 合計:13 <4,3>+6

ソン:R12C9+11 合計:15 <[6_2]> = <4>+11

GM:12点もらって、残り21。ではこちらの手番かな?

ソン:(プレイヤー発言) ファイアウェポンのおかげでまともなダメージに

ソン:>**GM** どぞー

GM:ほい、ではキップのクチから炎の塊メラメラー!

GM:**ノエ**に炎プレス! 生命抵抗判定してね! 達成値12

GM:【生命力抵抗判定】(生命抵抗力+2D)

※生命抵抗力=冒険者Lv+生命力B

ノエ:2D6+6 合計:9 <1,2>+6 どうせならぴんぞろが...

GM:抵抗失敗! ダメ行くよ~!

GM:2D6+4 合計:15 <6,5>+4

GM:15点炎魔法ダメだー! ぼかーん!

ノエ:「あちちっ!」

リップ:「大丈夫!? もう一発は耐えられなさそうね...」

ノエ:「少しつらいですね...」

キップ:「ホギョワアアアアアア!」(尻尾斬られて怒ってる!)

GM:胴体は攻撃手段ないからこれでお終い。皆のターンだよん!

アレク:「回復しますよー。」

ノエ:「助かります。」

アレク:2D6+8 合計:18 <5,5>+8

アレク:R10C13+8 合計:9 <[1_3]> = <1>+8

アレク:(プレイヤー発言) ちょい微妙か

ダメット:(プレイヤー発言) リップ FP いる?

リップ:(プレイヤー発言) 大丈夫

ダメット:(プレイヤー発言) 気絶してもいいんだけど。σ(´。´) オイラ

リップ:(プレイヤー発言) 次いっていいかな? 胴体にクリティカルバレットで命中判定

リップ:2D6+7 合計:18 <6,5>+7

リップ:R20C9+7 合計:9 <[1_3]> = <2>+7

リップ:(プレイヤー発言) 9 点で

GM:はい。のこり 12 点!

リップ:(プレイヤー発言) ダメージが回らないなあ

ダメット:「ファナティシズムを(´Д´)ウマ、ソ、ノエに一。魔晶石 1 個使用いきまーす」

ダメット:2D6+7 合計:12 <1,4>+7

GM:ほい成功

GM:ノエ、ソに命中2、回避-2補正だね

GM:お次かもん!

ソ:では胴体殴ります

ソ:2D6+8 合計:14 <1,5>+8

ソ:R12C9+11 合計:15 <[4_4]> = <4>+11

GM:ほい、ピタリ賞で落ちた!

ノエ:>ソ びゅーていふおー

リップ:(プレイヤー発言) 妖怪いちたりないが沸かないなw

ダメット:(プレイヤー発言) やったー

キプ:「ホギョワアアアアアア!」お腹痛くなって首が垂れてきた!

ダメット:(プレイヤー発言) >ノエ 頼んだ。重戦車

ノエ:(プレイヤー発言) いきまーす

GM:かもん! 回避10

ノエ:2D6+7 合計:11 <2,2>+7

ノエ:(プレイヤー発言) あぶね——。それじゃ……

ノエ:R30C10+19 合計:36 <[5_6],[5_2]> = <10,7>+19

GM:おおう wwww

ダメット:(プレイヤー発言) キタ——(´Д´(O=(´▽´)=O)´Д´)——!!

ソ:(プレイヤー発言) まわったw

ノエ:(プレイヤー発言) まわったー

リップ:(プレイヤー発言) これはすごいwww

ダメット:(プレイヤー発言) これで、1 ターンキルほぼ確定

GM:一撃で残り5……どういう事なの?

ノエ:(プレイヤー発言) それじゃお馬さん GO!

ノエ:2D6+7 合計:13 <2,4>+7

ノエ:2D6+7 合計:16 <5,4>+7

GM:ほい撃沈！

ダメット:(プレイヤー発言) やた！！

アレク:(プレイヤー発言) やったー！

キプ:「ホギョワアアアアアア……」ずずーん！

ノエ:馬「安らかに眠れ……」

ノエ:「やったー！」

ソン:(プレイヤー発言) 馬w

GM:ノエと馬の絶妙なコンビネーションでキプロクスは地に伏しました。

リップ:「やるじゃない！」

GM:ではでは剥ぎ取りだよん！

ダメット:「(´_ゝ`)(´く`) 流石だよノエ」

ノエ:(プレイヤー発言) まさか回るとは……、誰か剥ぎ取りお願いします。

ダメット:(プレイヤー発言) ここは、ダメージソースのノエに

リップ:(プレイヤー発言) ノエだなw

ノエ:(プレイヤー発言) そしてピンゾロですねw

ノエ:2D6 合計:12 <6,6>

ノエ:(プレイヤー発言) まじか—————！

アレク:(プレイヤー発言) キター！！！！w

リップ:(プレイヤー発言) これはwwwwwwwwww

ダメット:(プレイヤー発言) キター————(∩(O=(∇)=O)∩)————!!

ソン:(プレイヤー発言) さすが！w

GM:……うん、ここまで見事だとボーナス値で1あげちゃおう wwww

GM:炎の結晶(1600G)ゲット！

ノエ:(プレイヤー発言) やったー！

リップ:(プレイヤー発言) マジかーw

ダメット:(プレイヤー発言) まさかの w

GM:だってここまで活躍した上で6ゾロだもん！ ええもん見せてもらったわ wwww

リップ:(プレイヤー発言) MVP ですなー

ダメット:(プレイヤー発言) んだんだ

ノエ:(プレイヤー発言) いやー、ゴブリンは強敵でしたねw

ダメット:(プレイヤー発言) wwwwwwwwwwww

リップ:(プレイヤー発言) スカツ

ダメット:(プレイヤー発言) キプのほうが弱いとか w

アレク:(プレイヤー発言) 酔ってるゴブリンの方が強かったかーw

いやー、ノエのダイスが荒ぶってましたね～。こういうものを見るとついついサービスしたくなっちゃうわけです。さあ、仕上げのエピローグ行ってみましょう！

・輝く桜、舞い散る下で

GM:さて、キプロクスを倒して思わぬ報酬も手に入れた皆は、キャプテン達が待つ桜に戻って来たよ。

ルナ:「ええと、10、20ガメル…うう、ピンチです…！？なんですかそのトカゲ！！！」←今気付いた

ソン:>ルナ「おっそいよ?!」

リップ:「ふいー疲れた…」

コトリ:「あんなの倒しちゃうなんて…皆さん本当にお強いんですねえ」感心

ノエ:「鎧が熱こもって熱い…」

ペンティーア:「おーお前等ご苦労。んで…**ダメット**?」

リップ:「さて…キプで忘れたとは言わせないわよ…**ダメット**君？」

ダメット:「へえ?何のこと？」

リップ:「皆はどう思うかしら？」

コウ:「**ダメット**兄ちゃん…」

マシロ:「どろぼうさん…ダメ…」

ノエ:>**ダメット**「やはりしまっておくか…(縮小札)」

アレク:「いつものこととはいえ、少しやりすぎでしたね。」

ダメット:「え?やだなー。冗談ジャナイデスカ。ミナサン。。。。。」

ペンティーア:「お前には選択肢が三つある…」

- ① 俺のジェノサイドバレット零距离、
- ② 俺のメテオストライク収束、
- ③ 皆からゲンコツ食らって箸巻き、どれがいい？」

ダメット:「④で」

コトリ:「④だと、私のお弁当抜き、ですね」

リップ:(プレイヤー発言) キャプテン有能すぎるwww

ノエ:(プレイヤー発言) ③だと皆から食らったら死ぬんじゃ…

ダメット:(プレイヤー発言) **ノエ**、**ソン**アタリがこわいw

GM:ギャグ補正ノダメゲンコツだよん

ノエ:(プレイヤー発言) デスヨネー

ダメット:「じゃ、③で。。。(^ 旦`)」

ペンティーア:「OKだ。おい野郎共、囲め」

エスト:「因果応報、ですね…お察します」

アレク:「ゴッド・フィストが使えないのが残念ですね。」

ソン:「はいはい、おとなしくしとけよー」

リップ:「避けたら+1 発ね」

ダメット:「怪力 BBA め。。。。。」(ボソツ)

ノエ:「行け、馬。」馬「げんこつはまかせろーウマウマ」

ソン:(プレイヤー発言) >**ノエ** それげんこつやない、蹄や

ダメット:(プレイヤー発言) >**ノエ** それ、y=(`旦`)∴ ターン死ぬ w

GM:てなわけで、皆からゲンコツ10連発をくらって**ダメット**の頭にはタンコブの山ができました。

(ごごごごごごごごいん！)

ダメット：「ぐへー。。。。おぼえてろよ。。。。。」

リップ：「まだ反省してないのかしら・・・」

GM：そして簀巻きにされて桜の木に吊され、タンコブが風に揺れながらプラプラしてます

ダメット：「鬼一、悪魔一、下ろせー。ぺっぺっぺっぺ」

マシロ：「・・・つんっ(タンコブ突っつく)」

ダメット：「イタイトテエ σ(TεT;)」

コウ：「お！面白い！つんつんつんつん！」

ダメット：「イタイトテエ σ(TεT;)ヤメテヨーヤメテヨー」

リップ：「そろそろ宴会始めないかしら？」

ペンティーア：「だな！早速準備を・・・ん？」

GM：準備をしようとしたら、キャプテンはお酒“ソメイヨシノ”と、**ノエ**が持っているキプロクスの牙がほんのり光ってるのを目にします。

ノエ：「そういえば、何かを捧げろとっていましたね。」

アレク：「これを捧げろということでしょうか。」

ペンティーア：「もしかして、これがそうなのか？」

ルナ：「むむ？」

リップ：「牙とお酒？どういうことかしら」

GM：ルナは二つをまじまじと見比べ、近くにいた妖精に話を聞きます。

ルナ：「ほっほーう・・・皆さん、その牙、いただいてもいいですか？」

リップ：「私は使わないし構わないわよ」

ルナ：「妖精さんから聞いた話だと、一番いい神酒を造るには“ソメイヨシノ”と魔物の牙が必要らしいんです」

ノエ：「不安ですが、任せます。」←見えない

ルナ：「それじゃ、ちょっとお時間頂きますね。皆さんはその間に準備してもらっていいですか？」

アレク：「わかりました。」

リップ：「了解よ」

ノエ：「畏まりました。」

ダメット：ぶらーん、ぶらーん

ソン：「あいよー」

GM：では、ルナに牙を渡しました。報酬の80G分はルナの自腹で。

ルナ：「うう、こうなったらSSカード売ろうかなあ・・・」

リップ：(プレイヤー発言) おこづかいがww

ヴェルダー海賊団の懐事情ってどうなってるんでしょうね？キャプテンはお金持ちだけど・・・まさかのお小遣い制度！？

GM：さて、日も暮れ始めた頃、うんうん言っていたルナがついに歓声を上げました！

ルナ：「でっきました————！！」じゃじゃーん！とお酒を見せつける

アレク:「どれどれ？」

【花見神酒“オウカゲンエイ”】最高の花見を楽しむための神酒。これを捧げた桜の木は、よりいっそう綺麗な花を咲かせ、息を呑む程の景色を見せるという。

ノエ:「・・・さすが高レベルのアルケミストですね。」

ルナ:「私が本気を出せば、ざっとこんなもんです！」えっへん！

ソン:「へー」←よくわかってない

アレク:「ふむふむ。どうやったのか後で聞かせていただきますよう。」

リップ:「じゃあ早速捧げてみましょうよ、どうすればいいの？」

ダメット:「お・ろ・せー。お・ろ・せー。その酒よ・こ・せー。」ぶらーん、ぶらーん

ルナ:「妖精さんの話だと、根の方に少し掛ければ良いみたいですよ？」

コウ:>**ダメット**「やーいやーい！つんつん」

マシロ:「お、おにいちゃん・・・そろそろやめてあげようよう・・・」おろおろ

ダメット:ぶらーんぶらーん

アレク:「では早速やってみましょう。」

ペンティーア:「おう、試してみっか。あーそれから**ルナ**、そろそろ**ダメ吾郎**を下ろしてやれ」

リップ:（根元にかけて見る）「これでいいのかしら？」

GM:では、**リップ**が根本に神酒を掛けると、たちまち桜が不思議な光に包まれます



GM:神秘的な光で包まれる桜の木。そして舞い散る桜吹雪が、辺り一面に広がります。

リップ:「これは・・・すごいわね・・・」

コトリ:「綺麗です・・・」

ダメット:「うわー、綺麗だ。」黙りこくって、息を呑む。

マシロ:「ふわ・・・うわあつ、すごい・・・」

アレク:「わざわざ来た甲斐がありましたね。これは素晴らしい。」

コウ:「うおお、すっげえ綺麗だー！」

ノエ:馬「beautiful」**ノエ**「全くだな、馬」

ソン:「確かに、これは、すごいな。」

エスト:「苦労した甲斐、あったみたいですね、マスター」

ペンティーア:「・・・へっ、大したモンじゃねえか」

アレク:（プレイヤー発言）馬www

ペンティーア:「よっしゃ！お前等飲むぞ！宴だあ！こんだけすげえもんを見せる酒だ！
きっと美味いに違いねえ！」

ダメット:「ヱ—————ヽ(°Д°)人(°Д°)ノ—————イ!!」

アレク:「船長さん、お付き合いしましょう。」

リップ:(皆に酒を配って、絵を描く用意をします)

ノエ:「ありがとうございます。もしよかったら描いた絵、いただけませんか？」

リップ:「普段は誰に譲ったりしないのだけど、今日は活躍したもんね。構わないわよ。」

ノエ:「ありがとうございます。お嬢様によい土産ができました。」

GM:神秘的な桜の木の下で開かれる、そよ風亭のお花見宴会。心なしか、お料理もお酒もいつもよりも一層美味しく感じられる事でしょう。

ダメット:>GM 月はでていますか？

GM:綺麗なまん丸満月だぜい！

ダメット:「Σ o(*'o'*)o ウオオオオオ!!満月だー。

√(￣、￣√ツキガ√(￣▽￣√デタデタ~ヽ￣ー￣)ヽツキガデタ~ヽ￣△￣)ヽアアヨイヨイ。踊るぞー」

コトリ:「(おばあちゃんも..こんな景色を見て、こんな風に仲間と楽しんだのかな?)」

ノエ:(プレイヤー発言)月から船長の胸元に光線が降りてきてませんよね

GM:ツインサテライトジェノサイドバレットなんて無いよ！

ダメット:(プレイヤー発言) wwwwwwwwwwwwwwwwwww

GM:それぞれが思い思いに楽しみながら、宴会は朝まで続いたのでした・・・。

そよ風亭とショーウィ・ガレオン。仲間達は今日も、笑顔です。

……………はい！以上を持って、セッション終了です！お疲れさまでしたー！

一同:お疲れさまでした~~~~！！

今回はいつになく綺麗なエンディングだったな〜と GM は自画自賛してみたり。…まあ、毎度お馴染みの宴会オチなんですけどね(笑)さてさて！この後はリザルト&アフタートーク！

・リザルト発表&アフタートーク！～MVPの命名～

GM:ではではリザルト発表！

GM:経験点 1500点 報酬 2380G 成長一回 名誉点 20点
(今回はお祭りって事で、経験点をちょっとおまけしました！)

ダメット:>GM お疲れ様でしたー&ありがとー。楽しめましたー

GM:いやーキプロクスあっさり倒されちゃったな…ファイアウエポン強い…

アレク:ブレスとテイルスイングくらってたらきつかったですね

ダメット:今日ライダーの強さを実感しました。勉強になりました。

リップ:ノエの火力が半端じゃないw

ノエ:コレでライダーの地位が少しでも上がることを信じて…

ダメット:いや、まじでそう。

GM:うん、1ターン目で尻尾潰されて痛かったよ〜・・・

ダメット:火力半端ない

アレク:ライダーってあんなに火力あるんですねw

ノエ:ちなみに初期スタートならライダー2、

GM:周りの支援もしっかりしてるし、ライダーは初撃もつよいね〜

ノエ:で探索と攻撃を取るのがオススメです

ソン:あの火力は凄かったw

ノエ:ライダーは鉄砲玉ですからねw

リップ:クリティカルバレット使っても一回も回らなかった・・・

ダメット:あるある

ソン:そんなものです

GM:C値を下げるとすれすれで足りない魔法だねwww

ノエ:クリレイをすすめますw

アレク:キルヒア神官としてはウィークポイント使いたかったですねえ

GM:正直キブはルナの支援あって丁度良いくらいかなーと思ってたけど・・・皆の戦略と威力恐るべし

リップ:初手尻尾潰せれば上々かと思ってたけど、それだけじゃ済まなかったw

ノエ:本当、活躍できたのは皆さんのおかげです。

GM:まさかのブレスー発だけしか撃てないとは・・・www それだけあのゴブ A が強かったのか・・・

アレク:酔拳使いだったとか・・・

ノエ:アレで気が引き締められましたね w

ダメット:ゴブリンの皮をかぶったドレイクとか？

ダメット:できれば、戦闘中に気絶したかった。そうすれば、気づいたらボコボコ糞巻きだったのに w

GM:>ダメット キャプテンが月まで無限パ〇チしてもいいのよ？

ダメット:その情景もありでしたね w 月にうさぎ的な

GM:今度酔拳ゴブリンでも作ろうかな・・・www

ダメット:酔拳 ゴブリンかあ。飲めば飲むほど命中あがるのか。。。。

GM:ドリンク掛けたら能力値上がる仕様にする！怯えよサカロス！

ノエ:ネームドモンスター:ジャッキー・リン

ソン:キュアポイズンしたら弱くなるのか

ノエ:ダメだ、勝てる気がしない・・・

ダメット:飲むたびに命中ボーナス+1とか面白いかも。補助動作で

ノエ:レンジャー9以上w

ダメット:おいらの RP くだくなかった？今後の参考のために聞きたいのだが。

リップ:よかったよー。乗っかりやすかったかなー

ノエ:僕は大丈夫でしたよー。

GM:GM としては良い具合に盛り上げてくれたと思うよ〜？

アレク:よかったと思いますよー

ソン:大丈夫だと思いますよ

GM:>ノエ そうだ！馬に名前付けようよ！
ソ:馬、パーティーで二番目くらいにキャラ立ってたねw
ダメット:赤兎馬とか？ダメージ力的に
ノエ:それなんて無双w
ダメット:>ノエ いあ、今回無双だったやん w
GM:黒竜巻にしようよ！wwww
リップ:頭一瞬でしたからねw
GM:あれは口あんぐりだった……
ノエ:そのきれいな顔を……
リップ:吹っ飛ばしてやるぜ
ノエ:名前どうしよう……、とんぬr……やめとこうw
ダメット:(プレイヤー発言) >ノエ 馬の名前 ナリタブリアンとかどう？
GM:ナカ競馬の馬みたいだ www
ノエ:由来教えてー
ダメット:(ピンポンパンポーン♪)←お察し下さい
GM:か—————と！
ノエ:>ダメット 30m先からチャ————ジッ！！
ペンティーア:「右手にメテオストライク……左手にデスククラウド……」
ダメット:(プレイヤー発言) あかん、それ死ぬ奴や。節子
アレク:キャプテンがデュアルマジックを……！
リップ:デスクラはアカン
ノエ:ざんしんなまるちあくしよんですねー
ペンティーア:「そして……この二つを……合わせる！」
アレク:合わせたー！ww
リップ:キャプテンウィザードだったのかw
GM:今のはネタで、コンジャラはどうしようか悩んでるけどね wwwww
リップ:(プレイヤー発言) アカンw

GM:馬……このセッションにちなんだ名前が欲しいな～
アレク:桜っぼいの入れます？ 桜を見て名づけたみたいな流れで
ネーミングセンス無いんで浮かびませんがw
ダメット:ソメイヨシノとかやさそうね。
ソ:セッションにちなんだ……スリジエ(フランス語で桜)とか？
ノエ:いいですねー。
ダメット:サクラガイセンって馬名もあるみたいだねえ
ダメット:イタリア語=ciliegio(シリエージョ)
スペイン語=cerezo(セレツソ)
ドイツ語=kirschbaum(キルシュバウム)
フランス語=cerisier(セリシール)

ダメット:全部サクラの意味だって

ノエ:この馬は多分ザルツ地方で借りた馬なのでドイツ語かなあ

GM:じゃあ最初四文字とってキルシュとか？

ダメット:キルシュか。。。。銀河英雄伝説のキルヒアイスみたいだな。

ノエ:>**ダメット** 二巻で死んじゃう

GM:GM 的にはしっくりくるなあ

ノエ:キルシュがしっくりきますね。そうしましょう！

GM:けってーい！

アレク:パチパチパチパチ

ソン:命名おめ！

ダメット:お(・▽・)め(・▽・)で(・▽・)と(・▽・)う！

リップ:お、決定か

ノエ:馬「私の名前はキルシュ。これからもよろしくお願い致します。」

GM:これから相棒のお馬さんだ～！

アレク:しゃべっとるww

GM:レベル限界突破してやがる・・・なんて馬だ

ノエ:一応ウマ語w

ダメット:妖精語・共通交易語・英語しゃべるんだがら、人智を超えている。

ノエ:キルシュ「騎獣の嗜みでございます。」

アレク:そんな馬には今後お目にかかることはないだろうなあw

ソン:幻獣っぽい言語構成だなあw

ノエ:セッション中は空気を読んでウマ語メインで話します。

ダメット:もう、馬じゃなくて、幻獣でどうかと

GM:地味に**エスト**も共通交易話せるんだけどね～wwww これは負けたか www

エスト:「・・・私もまだまだですね」

アレク:きっと一定レベルに達すると幻獣化しますよ

ノエ:ライダー技能が4以上になると自動的に軍馬に・・・

GM:進化する馬・・・なんて奴だ！

ノエ:>**GM** でもレンタル料とかはちゃんと上がりますw

GM:もう専用化しちやいなよ wwwww

ダメット:今現在で、幻獣並なのに、これで軍馬になったらユニコーンが○ダムになっちゃうよ。

アレク:ガン○ムになっちゃったww

ソン:それはワープ進化しすぎw

ノエ:いやいやここは風○再起でしょw

ダメット:風雲○起。なるほど、**ノエ**はこれから、布もって戦うのか。

ノエ:そんな流派が SW2.0 にありますねw

ダメット:まじですか。

ノエ:エルエレナってやつです。

ダメット:それは、サブリにのってるんですか？

ノエ:どっちかの博物誌に載ってたと思います。

ソン:フェイダンのほうですね

ダメット:是非エルエレナに転職を w そして、あの名ゼリフを聞きたい

ダメット:「だから、お前はあほなのだ」と

ノエ:「流派東〇不敗は王者の風よ！」

キルシュ:「全新系列、天破侠乱、見よ、東方は赤く燃えている！」

ノエ:ってな感じですかね w

GM:キルシュがしめるんだ www

ソン:演武の相手馬！？

GM:ノエ「撃てえキルシュううう！」キルシュ「はいiiiiiiiiiiii！！」

ダメット:あかん ww 腹痛い wwwwwwww

ソン:もうキルシュが主人公でいいんじゃないかな

キルシュ:「俺の物語だ」

~~~~~

#### ・後書き

さてさて、〈ラクシアーのお宝〉番外編 第一グループ編、いかがでしたでしょうか？

いつものお宝探しとは違った一面を描いてみたのですが…楽しんでいただければ幸いです。

しかし…PT メンバーが違うとやり取りも変わる物ですね…ダメットみたいな悪戯キャラが一人いると RP が良い具合に盛り上がりますね！

そして戦闘面では、初めて多部位の敵を採用してみました！いくつか部位があるとやっぱりホスキャラって感じしますね～！まあ、2ターンでやられちゃいましたが(笑)

加えて、今回から挿絵感覚でセッションで使った絵を加えてみました！今回の内容は文面だけでは伝わりにくいかな～と思いましたので。セッションの空気を少しでも再現出来たかな？

さてさて、番外編も本編同様、第二グループ編がございます！こちらはこちらでぶっ飛んだ内容になっていますのでお楽しみに！

最後に、セッションに参加してくれた皆様！いつも応援してくれる先輩方！そして本書をここまで読んでくださったあなた！その全てに感謝を！

ではでは「番外編 第二グループ編」、及び本編もお楽しみに！

平成 25 年 4 月 17 日(水)

「初心者 GM といく〈ラクシアーのお宝〉シリーズ」GM ペンタコス